



進修館だより 交流マップ

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様を、マップに掲載していく形でご紹介します！



■ 進修館2Fロビーのアップライトピアノ

進修館の2Fロビーにひっそりと置かれているアップライトピアノ。これは宮代町百間にお住まいの方から寄贈された70年ほど前のピアノです。持ち主の方に代わり、今後は進修館で新たな音楽を紡いでくれます。

■ 町外・団体・サークルの皆様

- ・象設計集団 東京事務所（東京都狛江市）
- ・象設計集団 十勝事務所（北海道河東郡音更町）
- ・沖縄県今帰仁村役場（沖縄県国頭郡今帰仁村）
- ・今帰仁村歴史文化センター（沖縄県国頭郡今帰仁村）
- ・（一社）今帰仁村観光協会（沖縄県国頭郡今帰仁村）
- ・古宇利島の駅 ソラハン（沖縄県国頭郡今帰仁村）
- ・（株）国建 北部事務所（沖縄県名護市宮里）
- ・森の交流館・十勝（北海道帯広市）
- ・大学セミナーハウス（東京都八王子市）
- ・入間市文化創造アトリエAMIGO!（入間市仏子）
- ・久喜市菖蒲文化会館アミーゴ（久喜市菖蒲町）
- ・CAFE パロキア（久喜市菖蒲町）
- ・珈琲パウエル（久喜市久喜）
- ・（株）ふれあいクラブ（宮代町宮代台）
- ・（株）彩和とらすとサービス（白岡市小久喜）
- ・杉戸町障がい者支援センター（杉戸町清地）
- ・日の出（幸手市中）
- ・（株）あおば保険事務所（春日部市中央）
- ・白田陽介税理士事務所（久喜市久喜東）
- ・～語りと和楽の達人衆～ かたりと（東京都北区）
- ・（株）カンパニーヒュッグ（春日部市上蛸田）
- ・（有）大城産業（茨城県古河市）
- ・（有）今帰仁城（茨城県古河市）
- ・（株）シェアリッチ株式会社（茨城県古河市）
- ・L'AUTRE MAISON 西ノ洞（群馬県館林市）

■ 進修館だよりで交流させていただいている自治会をご紹介します！（50音順）

- | | | | | | | |
|-----------|----------|---------------|--------------|-------------|------------|------------|
| ・ 稲荷町町内会 | ・ 国納北 | ・ 新道第一町会 | ・ 中須地区 | ・ 姫宮北団地自治会 | ・ 宮代台自治会 | ・ 和戸1丁目町内会 |
| ・ 内野自治会 | ・ 国納南 | ・ 新道第2町会 | ・ 中寺地区自治会 | ・ 姫宮南団地自治会 | ・ 桃山台自治会 | ・ 和戸2丁目1 |
| ・ 笠原2丁目町会 | ・ 逆井地区 | ・ 辰新田町内会 | ・ 西原自治会 | ・ 藤曽根地区 | ・ 山崎地区 | ・ 和戸2丁目2区 |
| ・ 金原地区自治会 | ・ 桜木町 | ・ 中央第1町会 | ・ 東地区自治会 | ・ 弁天町 | ・ 柚ノ木1 | ・ 和戸3丁目 |
| ・ 川端一区自治会 | ・ 宿地区 | ・ 中央第2町会 | ・ 東桑原自治会第1地区 | ・ 宮代1丁目1町会 | ・ 柚ノ木二区自治会 | ・ 和戸4丁目1区 |
| ・ 川端二区自治会 | ・ 新中町会 | ・ ディアコート宮代自治会 | ・ 東桑原自治会第2地区 | ・ 宮代1丁目第2町会 | ・ 若宮自治会 | ・ 和戸4丁目2区 |
| ・ 川端三区自治会 | ・ 新道三区町会 | ・ 道佛1区町会 | ・ 姫川一区自治会 | ・ 宮代学園台自治会 | | ・ 和戸5丁目地区 |
| | | ・ 道佛3区町内会 | ・ 姫川二区自治会 | | | |

※ 進修館だよりは、進修館および青文字の場所で入手することができます。
※ 各所の配架数には限りがあります。各所の在庫については進修館にお問い合わせください。



Community Center Shinsyukan

進修館だより

2024
12月号



■ 12月号の目次

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1P：表紙「2Fロビーのピアノとツリー」 | 5P：「キャンドルナイト in 進修館」 |
| 2P：「なきじんまつりイベントレポート」 | 6P：「地区自治会におじゃまします！」 |
| 3P：「なきじんまつりイベントレポート」 | 「今月の気になったコト」 |
| 4P：「進修館・今帰仁村グッズ販売中！」 | 7P：「進修館のあんなこと、こんなこと」 |
| 「わたしのへそ本3冊展」 | 「“外”から再発見、進修館の魅力」 |
| 5P：「進修館ロビーコンサート」 | 8P：裏表紙「進修館だより交流マップ」 |

進修館だより 2024年12月号（第44号） 第1版：2024/11/29 発行

発行元：宮代町立 コミュニティセンター進修館

（指定管理者：特定非営利活動法人 MCAサポートセンター）

住所：〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1 TEL：0480-33-3846

URL：https://www.shinsyukan.or.jp E-mail：info@shinsyukan.or.jp



めんそ〜れ！ 沖縄県なきじんまつり in 進修館

「象設計集団が手掛けた公共施設」という共通項がきっかけで、緩やかな交流をしている進修館と今帰仁村。2年にわたる親交が文化交流の一步を踏み出しました。催しの様子をご報告します。

【最高のステージを！】

今帰仁村の一行は総勢70余名。公演を控えた「北山の風」「今帰仁子ども太鼓いまじん」のみなさんは前日午後から進修館入りし、入念なりハーサルを行いました。その熱の入りようは、進修館スタッフも圧倒されるばかり。「最高のステージを見てほしいから」というメンバーと共に、夜遅くまで準備をしました。そして迎えた当日。会場となった大ホールは、400名を超える観客で超満員となりました。



【宮代音頭でお出迎え】

公演に先立ち、宮代町民俗舞踊連盟と有志の方々による「宮代音頭」の演舞が披露されました。10月開催した練習会の成果もあり、観客席を囲んだ踊りの輪が会場を盛り上げ、今帰仁村のみなさまへの歓迎の気持ちが場内に広がりました。



【会場みんなでカチャーシー】

公演は「今帰仁子ども太鼓いまじん」の演舞からスタートしました。勇壮な琉球太鼓や獅子舞の迫力に、会場は一気に沖縄の雰囲気になりました。また、沖縄の方言で「かきませる」という意味があるという踊り「カチャーシー」を教えていただき、独特の音色に合わせて、みなさん笑顔で踊りました。



【物販も充実！】

今回の「なきじんまつり」では、今帰仁村の事業者による物販も行われ、大好評でした。公演に先立ち、物販は11時からスタートしましたが、進修館が開館すると間もなく販売を待つ人の列ができるほど。沖縄そばやサターアングギーなど食の販売の他、今帰仁村の特産品や化粧品などの商品が並んだ会場で、みなさんお買い物を楽しんでいらっしゃいました。



【迫力ある演技「北山の風」】

後半は、世界遺産今帰仁グスクにまつわる物語に芝居、ダンス、琉球舞踊、空手を織り交ぜた「現代版組踊『北山の風〜今帰仁城風雲録〜』」公演。沖縄本島北部やんばる（主に今帰仁村・本部町・名護市）の小学3年生から高校3年生までの子どもたちで結成されている「北山の風」ですが、今回は中学生以上の選抜メンバーが出演し、本来は90分のところ、特別ダイジェスト版として45分の公演となりました。今帰仁城にあった北山王朝最後の王「攀安知」と北山の山狗と呼ばれた副将「本部太原」との確執を描いた物語が繰り広げられ、完成度の高いステージに、感動の涙を流す方も多かったようです。



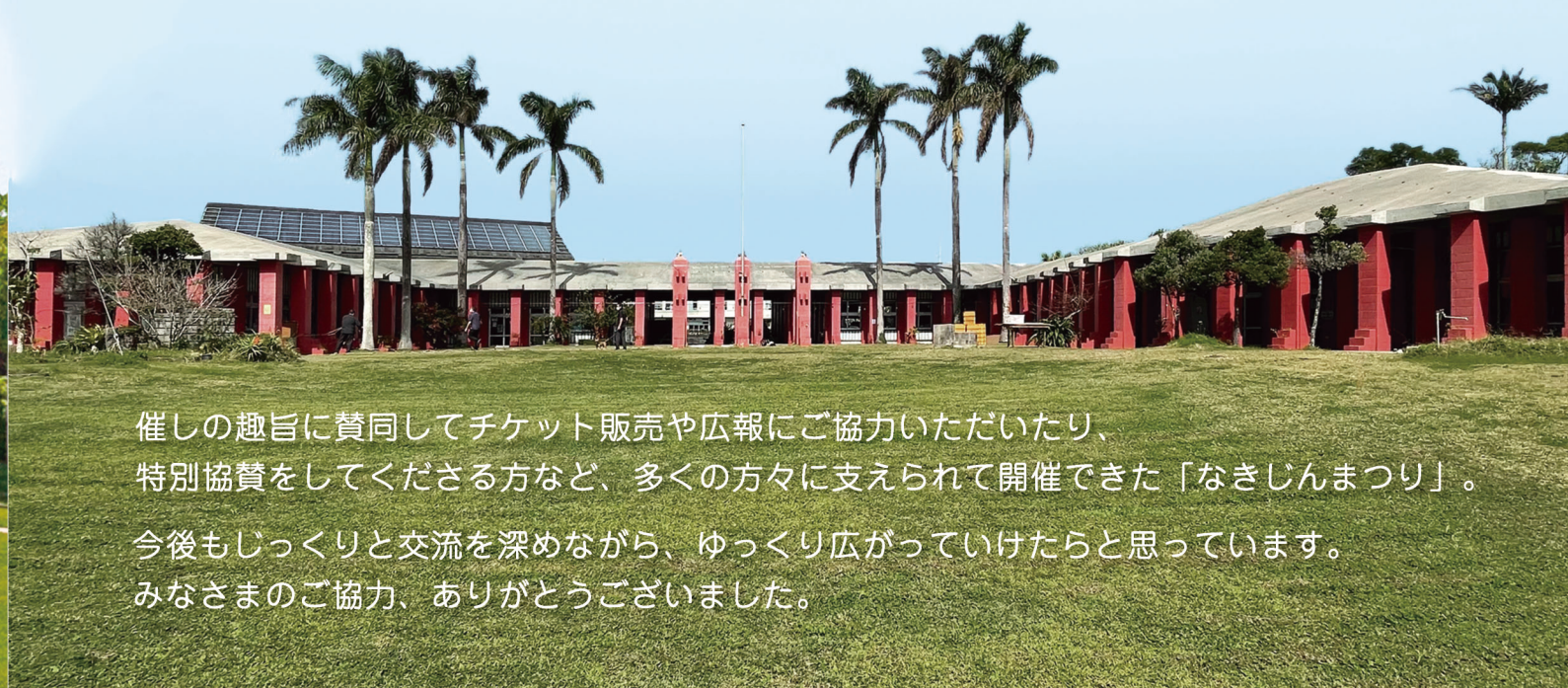
【民泊で地域交流】

「なきじんまつり」開催にあたって、進修館が大切にしていたのは「交流」でした。大ホールでの公演だけでなく、交流の輪を宮代町に広げることができないだろうか？と考え、8町会連合会の協力を得て、「北山の風」メンバー20名を新道集会所に民泊させていただくことになりました。8町会とは8月頃から打合せ始めました。話し合いの中でいつも心掛けていたのは、「今帰仁村から来る子どもたちは、どんなことをしたら喜んでくれるだろうか？」ということでした。例えば食事については、「仕出しではなく地域のみなさんで作って温かいものを食べさせてあげたい。」と立案した結果、カレーライスに決まりました。地域のお手伝いの人も含め50人前のカレーを作るのは、分量などの見当もつきにくいところですが、経験者の方が的確にアドバイスをしたり、カレー

は中辛でいいのかな？甘口もいるのかな？と迷ったりなど、大変ながらも楽しい話し合いが続きました。また、お菓子作りが上手な方が「シフォンケーキをデザートにどうでしょうか？」と仰ってください、豊かなメニューとなりました。

会場となった新道集会所前の公園には、地域のお神輿がライトアップされ、とても幻想的な雰囲気になっていました。公演を終えて集会所に来た子どもたちは、温かい食事を食べた後、公園で花火をしたり、子ども神輿や山車、太鼓など沖縄にはない文化に触れて、疲れも見せずに楽しんでいました。

翌朝、帰路に就く子どもたちは「宮代町を第2の故郷だと思って、また来ます」とあいさつしてくれました。送り出す8町会のみなさんも、「本当に楽しかった」「いい子たちだったね〜。」など、笑顔があふれていました。



催しの趣旨に賛同してチケット販売や広報にご協力いただいたり、特別協賛をしてくださる方など、多くの方々に支えられて開催できた「なきじんまつり」。今後もじっくりと交流を深めながら、ゆっくり広がっていかれたらと思っています。みなさまのご協力、ありがとうございました。

進 修 館 N E W S

「進修館オリジナルグッズ」「今帰仁村グッズ」好評販売中！

進修館では、今年の5月から物販を始めました。物販を通して宮代町や近隣地域、当館と当館とお付き合いのある方々が、元気になればいい…とか、町民や進修館を訪問された皆さまに喜んでいただけたらいい…など、そんな想いをもちながら売り場を展開しています。

現在は、進修館オリジナルグッズ（ポストカード、エコバッグ、クリアケースなど）や、久喜市にある著名な自家焙煎珈琲&ジャズ喫茶「珈琲パウエル」さんに焙煎・ブレンドしていただいた「進修館ブレンド」のほか、11月4日に開催された「なきじんまつり in 進修館」にお越しになっていた今帰仁村の方々の商品を取り扱っています。



物販コーナーは、進修館1F窓口（ボランティア室）にあります。右手のラックは進修館関連、カウンターは今帰仁村グッズです。

現時点で売上好調なのは、やはり今帰仁村のグッズ。特に上の写真左側、クマが持っているトートバッグが好評です。今帰仁村グッズは次回入荷が未定なので、気になる方はお早めに。なお進修館グッズの中では、進修館ブレンドが好評です。



進修館ブレンドは、旨味・コク・甘みのバランスのとれた、珈琲好きも納得の逸品。ブラックはもちろんミルクとの相性も抜群。

現在は進修館と今帰仁村グッズの販売のみですが、今後の展開としては、町内事業者や当館と交流がある町外事業者、職人・作家の作品などを積極的に取り扱っていく方向で考えています。今後どんな商品が並ぶのか…皆さま、乞うご期待！

進修館オープンカレッジ企画「わたしのへそ本3冊展」

わたしのへそ本 3冊展

へそ本とは？
展覧会の設計コンセプトの中に「展覧会は世界の中心のひとつ」というものがあります。「人間の体の中心というなら、へそ」「人の大切なもの＝へそ」「自分の考えや活動の拠り所となった本＝へそ」と「勝手に」発想することになりました。

へそ本トークセッション
12/8(日) 14:00~16:00
「へそ本」出展者が、本を選定した経緯から本への想いを語ります。

2024 12/8(日) → 2025 2/9(日) 10:00~18:00 @ 進修館2階ロビー

主催/企画：わたしのへそ本委員会 共催/問合せ：コミュニティセンター進修館 (0480-33-3846)

ロビーの活用について話し合う中で、本を通じて人と人がつながることさらに居心地のいい場所になるといい、との意見が出され、「わたしのへそ本委員会」が発足しました。「へそ本」とは、自分の考え方や活動のルーツやきっかけになった本のこと。進修館の設計のコンセプトの中にある「進修館は世界の中心のひとつ」に倣い、「人間の体の中心というなら、へそ」「人の大切なもの＝中心＝へそ！」「ということは、自分を形づくった本＝へそ本！」と、委員会で勝手に名付けたものなのです。

そしてこの度、選りすぐりの「へそ本」をロビーに展示する活動展を開催します。また、開催初日には「へそ本」出展者が本への想いを熱く語るトークセッションも開催！本を通じた「へそ自慢」をお楽しみください。



【へそ本委員会の様子】
話し合いの中でも「へそ本」自慢をする委員のみなさん。本番が楽しみです。

展示期間：12/8(日)～2/9(日) 10:00～18:00 @2階ロビー
オープニング企画「へそ本トークセッション」12/8(日) 14:00～16:00
主催/企画 私へのそ本委員会

【カンパニー・ヒュッケ共催事業】第1回 進修館ロビーコンサート

西村翔太郎ピアノリサイタル「大切な人といっしょに」に寄せて

12月14日にロビーでピアノリサイタルを開催する西村翔太郎さんは、進修館をとっても大切にしていっています。今回は、ロビーコンサートを目前に控えての想いを伺いました。

カンパニー・ヒュッケコンサート
第1回 進修館ロビーコンサート

大切な人といっしょに 西村翔太郎 ピアノリサイタル



OPEN 14:00
START 14:30

2024.12.14 sat
宮代町立コミュニティセンター進修館 ロビー

TICKET (前売り/税込・全額自由)
大人 1500円
中高大学生 1000円
小学生以下 500円
※当日券は各300円増
※大人が複数席する場合、子ども1人まで無料

TICKET ON SALE!!
カンパニー・ヒュッケ 048-754-5969
進修館窓口 0480-33-3846

CHECK!! 進修館公式サイト
<https://shinsyukan.or.jp/>

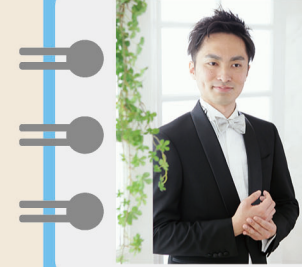
主催：企画/カンパニー・ヒュッケ
共催/宮代町立コミュニティセンター進修館 TEL.0480-33-3846

ロビーは以前から何度も訪れています。本当に居心地がいいいい場所です。人としてゆっくりできるのが何より素敵だと感じています。そこにあるアップライトピアノの存在は以前から知っていましたが、それを演奏するロビーコンサートがとても楽しみです。

今回のコンサートでは、ロビーが演奏者と音楽とお客が一体になって楽しめる空間になると思っています。ロビーの

雰囲気には合うと思われる、リラックスして肩の力を抜いて聴いていただける曲や、クリスマスなどの曲などを演奏する予定です。耳なじみのある曲をたくさんご用意していますので、クラシックになじみのない方でも「聞いたことがあるな」と思っていただけると思います。演奏家と観客が一緒の時間を同じ空間を過ごす、幸せに過ごしていただけるプログラムにしたいと思っています。

日時：2024年12月14日(土) 14時開場 14時30分開演 / 場所：ロビー
出演：西村翔太郎 (ピアニスト、カンパニー ヒュッケ メンバー)
参加費：前売…大人 1500円 中高大学生 1000円 子ども (小学生以下) 500円
※当日は各300円増。大人が同伴する場合、子ども1人まで無料。
チケット販売・問合せ：進修館 窓口 0480-33-3846 info@shinsyukan.or.jp



■ 西村翔太郎 (ピアノ)

秋田県生まれ、埼玉県育ち。埼玉県立大宮光陵高等学校を経て、東京藝術大学および大学院を首席で卒業・修了。その後、イモラ国際ピアノアカデミー(伊)を修了。第14回東京音楽コンクールピアノ部門第2位及び聴衆賞、第7回 Euregio Piano Award(独)第2位ほか、数々の国内外のコンクールで入賞。「感情的かつ緻密さを兼ね備えた音楽家」と称され、多岐の分野にわたり好評を博す。東京藝術大学、桐朋学園大学、大宮光陵高等学校、桐朋女子高等学校[男女共学]各非常勤講師。

【社会福祉法人じりつ共催事業】キャンドルナイト in 進修館 2024



お互いを大切にすることを
「ありがとう」を言葉に。

12月14日(土)17時～19時
会場/宮代町立コミュニティセンター進修館(四季の丘)

主催/共催：社会福祉法人じりつ 電話 0480-53-4571
当日連絡先：0480-33-3846(進修館) HP: <http://bit.ly/jiritsu-candle>

進修館の冬の風物詩、「キャンドルナイト in 進修館」が今年も開催されます。「大切な人への感謝の気持ちを伝える」ことをテーマとしているこの催しは、宮代町内の幼稚園・保育園・小中学校の子どもたちによる感謝の言葉が書かれた手作

りのキャンドル約3000個が芝生広場にいっぱい輝かせる、宮代町の冬の風物詩となっています。冬の夜のひととき、感謝の気持ちで満たされた進修館芝生広場でゆっくりお過ごしください。

日時：2024年12月14日(土) 17:00～19:00
場所：四季の丘(芝生広場) 参加費：無料
主催：社会福祉法人じりつ <http://bit.ly/jiritsu-candle>
共催：宮代町立コミュニティセンター進修館
後援：宮代町・宮代町教育委員会
宮代町商工会青年部・宮代町社会福祉協議会
問合せ：社会福祉法人じりつ 0480-53-4571
当日連絡先：進修館 窓口、0480-33-3846、info@shinsyukan.or.jp



キャンドルナイト
去来ホームページ

地区自治会におじゃまします！

このコーナーでは、宮代町内の地区・自治会の取り組みや地域の特色などをお届けいたします。

◆ 新中町会

自治会情報 [稲荷町町内会]

【構成】
118世帯



(2024年4月1日現在)

昨年「自治会離れ」が進んでいるという話をよく耳にします。その原因の一つとして挙げられているのが「役員が回って来ることの負担」です。地域のつながりは大切だと思うけれど、役を担うのはちょっと…そんな流れに一石を投じる試みをおこなっている、新中町会にお話を伺いました。

【自治会を解散するしかないのか】

新中町会は戸建て住宅が多い地域です。数年前、地区・自治会長が集まる地区連絡会で、当時の新中町会の会長さんが「役員のなり手がおらず、苦勞している」と話していました。同席していた他の方々も「うちの地域も同じだ」「役員を頼みに行っても引き受けてもらえず困っている」などの声が上がりました。新中町会長は「周囲の人とも話しているが、自治会を解散することも考えなければならぬかもしれない。」と発言され、事態の深刻さと共に、地域の方々の葛藤を感じました。そして、本当に



【地域の拠点「ペリカン教室」】
新中町会の拠点は、かつて絵画教室だった施設です。役員会などもここで開かれています。

自治会を解散してしまうのが、気にかかっていました。

【有志が集まり再スタート】

今年度に入って開催された地区連絡会に、新中町会の新しい会長が出席し、これまでの経緯を話されました。前会長が話していた通り、町会では役員を引き受けの人を探すのが難航し、自治会の解散も含めて検討せざるを得ない状況に陥ったそうです。そんな中、地域のつながりを大切にしたい有志が集まり、忌憚ない話し合いを行った結果、「これまでの役員会のあり方を見直し、できる人が役を引き受けることにする」「会議の回数を減らすなど、必要最低限まで業務量を削減する」「会費の集金方法などを見直し、班長の業務を軽減する」など、大胆な改革を行いました。またこれに伴い自治会の規約も改正し、再スタートを切りました。現在役員となっている方々は、「地域のつながりが途切れることは残念なので、



【コミュニケーションを大切に】
「〇〇さんはどうしてる？」など、役員の方々は敬老会に訪れた方との会話を大切にしていました。

何かできないか、と話し合う中で、各々が自分のできることを引き受けたら、ちゃんと機能するような体制になった」と笑顔で話していました。また、新しい体制になったことを機に、再び自治会に入ってきた方もいるとのことでした。

【行事を通じて地域のつながりを大切に】

取材時、新中町会では地域敬老会を開催していました。地域の拠点に役員が集まり、訪れた対象者にお祝いの品を渡しながら、近況を話したり、他の会員のことを気遣ったりと、そこで交わされる会話は温かく、地域のつながりを大切にしていることがわかります。役員の方々曰く、次につなげていくためにも、地域に関わることが楽しいと思う人の輪を少しずつ広げていくように努めているとのことでした。

無理なく楽しく地域を支え続けていく新中町会は、これからの自治会活動を考える上での新しい地域のモデルだと感じました。

今月の 気になったコト

◆ とうふ屋 豆いち 祝！1周年！




最近販売を始められた「油揚げ」。国産大豆で作った生地を上質な菜種油でじっくり揚げた逸品！

国産大豆100%で作っている美味しい豆腐でおなじみの「とうふ屋 豆いち」が、来る12月1日、1周年を迎えられます！本誌では昨年のオープン以来、豆いちさんには本当にお世話になっています。進修館だよりを配架していただいたり、和戸町内会主催・進修館共催のサロン企画ではおやつをご提供いただいたり…いろいろ無理も聞いてくださって、感謝の念に堪えません！

このコーナーでは、宮代町内をいろいろ回っていた際に気になったモノ・コト・ヒトなどを取りあげていきます。

記者がオススメする豆いちさんの商品は、豆腐はもちろん、豆乳と厚揚げ！そして気になるのが、最近販売を始められた油揚げ！デザートTOFUも美味なので皆さま是非！

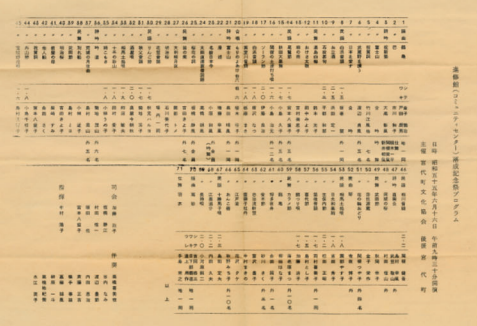
【とうふ屋 豆いち】
住所：宮代町西原481-1
TEL：0480-32-4443
営業時間：12:00～18:00
定休日：火曜日



教えて、田沼さん！「進修館のあんなこと、こんなこと」第4回

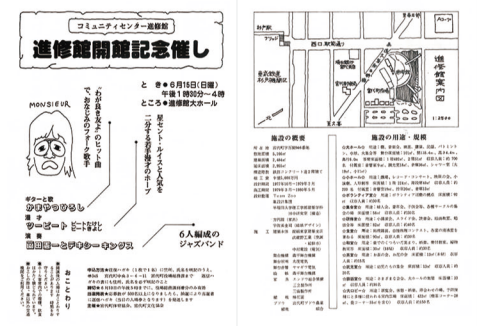
このコーナーでは、進修館の建設時に宮代町役場職員として関わった田沼繁雄さんに、当時のエピソードなどを伺います。

先日ある方が「進修館のオープニングイベントのプログラムが見つかりました」と届けてくださいました。渡されたわら半紙には「進修館（コミュニティセンター）落成記念祭プログラム」と書かれ、なんと71もの演目が連なっています。当時の「広報みやしろ（1980年7月号）」には、その様子が掲載されています。6月15・16日



「進修館（コミュニティセンター）落成記念祭プログラム」には、数多くの演目が掲載されています。

の2日間かけて開催された「進修館開館記念フェスティバル」は、初日は体育協会主催による芸能人を招いてのアトラクション、2日目は文化協会主催の文化祭と、とても盛大な催しだった様子。現在健康体操として町民のみなさんに親しまれている「みやしろキラキラ体操」で使用されている「ソング・フォー・ミヤシロマチ」のお披露目



催しの告知は「広報みやしろ」に掲載されました。往復はがきで申し込み、返信ハガキが入場券になったようです。

と歌唱指導も行われました。

田沼さんにこの時の様子を伺ったところ、それはそれは大盛況だったとのこと。「現在は有名になっている北野武さんが『ツープート』というコンビでステージに上がったのですが、そのギャグが痛烈で、みんな驚いていました。」と話してくださいました。華やかなオープニングだったのです。



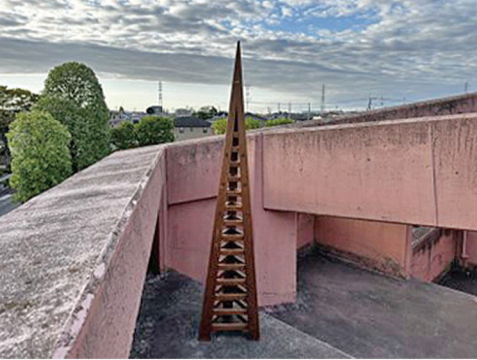
6月15・16日の様子は「広報みやしろ」1980年7月号に写真入りで掲載されました。このあと、1980年7月1日に進修館が正式に開館しました。

「外」から再発見、進修館の魅力」第2回

このコーナーは、進修館でアルバイトしている日本工業大学の学生（地元は福島県）が、町外から宮代町に越してきて感じた、進修館の魅力について語るコーナーです。



ロビーにある大きなテーブル。このテーブル、なんとなく宮代町の形に似ていると思いませんか？建物だけでなく家具にもこだわりが！



こちらはロビーに置かれているライトスタンド。議会の椅子同様、こちらも宮代町にある鉄塔をイメージしたものだそうです。

みなさん、こんにちは！日本工業大学建築学科1年の浦山です。今回、僕がみなさんにお伝えする魅力は、進修館が出来たきっかけやストーリー、館全体にちりばめられた宮代愛の数々についてです！

1980年に開館した進修館、実は建築界では有名なあの“象設計集団”に依頼をして建設されていたのです。驚きなことに象設計集団のメンバーの一人である富田玲子さんは、当時町長だった斎藤甲馬さんの姪御

さんでもありました。甲馬さんが進修館の設計を依頼する際には、「世界にひとつしかない建築」を作ってくれと言われたそう。そこで富田さんはこの進修館に宮代町を表現されたのだそうです。例えば、議会で使われる椅子のあの形はこの町にそびえ立つ鉄塔を、ロビーにあるカーブした机はこの町の地形を表しているのだとか。他にも、進修館の庭にはこの街の特産品でもある巨峰が植えられています。ぶどうはつる性の

植物で、伸びたぶどうの樹がやがて進修館を覆うことを願って庭から屋根にかけてネットが張られています。また、館内のいたるところにぶどうの彫刻がなされています。テーブルにはガラスブロック、床にはタイル、さらにはドアの取手に至るまで、館内のどこにいても宮代町を感じられるデザインになっています。僕はこれまで館内の机や椅子を見ても、ただ独特な形だとなしか思っていませんでした。館内の至るところにあるぶどうに関するものもそうです。しかし今ではとても細かなところからこの街への愛が感じられる素敵なデザインだと感じています！

今回は進修館の中にちりばめられた、様々な魅力をお伝えさせていただきました。みなさんも次に進修館を訪れた際には、ぜひもう一度館内をよく見て回ってみてください！宮代愛にあふれた、まさに「世界にひとつしかない建築」が、みなさんを待っています！